

OSAKA AIDS WEEKs

2025

Blood test

U=U

検出されない=性感染しない
Undetectable = Untransmittable
(検出限界値未満) (HIV感染しない)

適切な治療を続け
ウイルス (HIV) 量が低くなれば
HIVが性行為で他の人に感染することは
なくなるんやでえ〜

PREP

12月1日は世界エイズデー

Condom

Tasp

大阪エイズウィーク2025 実施報告書



1. 名称

大阪エイズウィークス2025

2. 実施体制

主唱：公益財団法人エイズ予防財団

参加・協力：

(団体)

- エイズ予防週間実行委員会（大阪府・大阪市・堺市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市）
- 独立行政法人 国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS先端医療開発センター
- 特定非営利活動法人 薬と医療の啓発塾
- 一般社団法人JHC
- 特定非営利活動法人 スマートらいふネット
- 摂南大学薬学部 医療薬学研究室・社会薬学研究室
- 宝塚大学看護学部 日高研究室
- 特定非営利活動法人 CHARM
- 特定非営利活動法人 ネットワーク医療と人権
- MASH大阪
- メモリアル・キルト・ジャパン
- 大阪検査相談・啓発・支援センター chotCAST
- コミュニティセンター dista
- プライドセンター大阪

(企業)

- FM802
- FM大阪
- ジェクス株式会社
- 信長書店・信長TOYS
- 法円坂メディカル株式会社

後援：

- エイズ予防週間実行委員会（大阪府・大阪市・堺市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市）
- 一般社団法人 大阪府医師会
- 一般社団法人 大阪府歯科医師会
- 公益社団法人 大阪府看護協会
- 一般社団法人 大阪府薬剤師会

3. 会期

2025年(令和7年) 11月22日(土)～12月14日(日)を中心とした期間。

4. 趣旨および目的

エイズの登場から40年が経ち、この間にエイズ発症を抑える薬の開発は飛躍的に進みました。今では、早期に治療を始めてきちんと服薬を続ければ、日常生活を支障なく送れるようになりました。しかし、エイズを発症して深刻な病状に至ってしまうケースもまだまだ多くあります。

エイズの話がメディアで報道されることも少なくなり、社会的な関心の低下の一方で、今でも日本では毎年、新たにHIVに感染していることが分かった人が1,000名前後報告されています。その約3割はエイズが発症してから感染がわかった人たちです。

毎年12月1日は世界エイズデーです。この前後の期間を「大阪エイズウィークス2025」として、エイズに関連する領域で活動する団体・グループ・個人が、自治体・企業・メディア等と連携しながら、気軽に参加できるものから深く学べるものまで様々なイベントや企画を運営し、市民のエイズへの関心を高めて感染拡大を防ぐとともに、感染した人々も安心して暮らせる社会の実現を目指します。

5. 実施方法

公益財団法人エイズ予防財団の呼びかけに賛同した団体・企業が、それぞれ（または協働して）企画を実施しました。参加団体・個人のイベント・企画だけでなく、自治体が発するエイズ予防週間の取り組みも合わせて、統一して広く市民に対して広報を展開するとともに、各団体・グループ・個人・企業の広報ネットワークツールでも情報提供を行いました。

6. 実施結果

12月1日の世界エイズデーを中心とする11月22日(土)～12月14日(日)を、大阪エイズウィークス2025の中心期間とし、11月・12月に様々なイベントやキャンペーン等が実施されました。実施された参加イベント・企画は次のとおりです。

FM802開催イベント「FUNKY MARKET」にて 大阪エイズウィークスのブースを出展

主催：公益財団法人エイズ予防財団
独立行政法人国立病院機構大阪医療センター
HIV/AIDS先端医療開発センター
協力：大阪エイズウィークス参加・協力団体/企業

日時：10月26日(日) 9時30分～17時

会場：万博記念公園 お祭り広場

内容：FUNKY MARKETはFM802が開催しているイベントで、1993年にスタートし、約30年親しまれています。FM802のDJとリスナーが触れ合える感謝祭のような賑やかな雰囲気イベントです。毎年3万人以上を動員し、番組ブース、ブランドショップエリア、リスナーによるフリーマーケットなど...緑豊かな万博記念公園で1日中楽しめる空間です。そのフリーマーケットエリアにブースを出展し、エイズ啓発の資材セット配布、パネル展示、クイズなどを実施しました。

結果：会場の入り口では、FM802によってチラシ等のサンプリングが行われ、大阪エイズウィークスのパンフレット7,000部も一緒に配布されました。また出展ブース前で特製エコバッグに入れた資材セット（内容物は大阪エイズウィークス2025パンフレット、啓発用 Condom、冊子「HIV感染症・エイズ2025」、啓発用ポケットティッシュ、各団体イベントちらし各種等）を2,000セット配布しました。

また、ブースではエイズの基礎知識についてパネル展示を行いました。さらにブースの展示をしっかりと見れば回答できるような内容のエイズに関する知識のクイズを実施しました。全回答者には参加賞をプレゼントし、さらに全問正解者にはエイズ啓発グッズもプレゼントしました。クイズには626名の参加がありました。



若者の性と健康 LGBTQA+を取り巻く差別や暴力

共催：一般社団法人Broken Rainbow-japan
宝塚大学看護学部日高研究室
公益財団法人みらいRITA助成事業

日時：11月22日(土) 第1部 13時～14時30分

第2部 14時45分～16時15分

会場：宝塚大学梅田キャンパス4階講義室

内容：教員、相談支援員、医療・福祉従事者 他、性的マイノリティに業務上関わる可能性を持つ方を対象としたLGBTQA+の健康課題に関する基礎的な情報、LGBTQA+コミュニティと性暴力の実情や相談支援に関わる上で求められる基礎的対応についてのセミナーを開催しました。第1部「性的マイノリティの直面するいじめ・性暴力被害の現状について—全国 Web 調査の結果から」（講師：日高庸晴）、第2部「性暴力を生き抜くことと性のありよう」岡田実穂（Broken Rainbow-japan）

結果：参加者数は69名でした。幼稚園教員から大学教員まで、関西圏を中心とした教職員の参加が多く、参加者アンケートでも「満足」の回答が100%（回収率30%）と回答者の中では非常に好評でした。

共催：一般社団法人 Broken Rainbow-japan、宝塚大学看護学部日高研究室
公益財団法人みらい RITA 助成事業

若者の性と健康 LGBTQA+を取り巻く差別や暴力

教員、相談支援員、医療・福祉従事者 他、性的マイノリティに業務上関わる可能性を持つ方を対象とした LGBTQA+ の健康課題に関する基礎的な情報、LGBTQA+ コミュニティと性暴力の実情や相談支援に関わる上で求められる基礎的対応についてのセミナーです

2025年11月22日(土)
①部 13時～14時30分 ②部 14時45分～16時15分
12時30分受付開始
場所：宝塚大学梅田キャンパス
(大阪市北区芝田1-13-16)

申込み窓口
QRコード

1部：「性的マイノリティの直面するいじめ・性暴力被害の現状について—全国 Web 調査の結果から」 日高庸晴 (宝塚大学)	2部：「性暴力を生き抜くことと性のありよう」 岡田実穂 (Broken Rainbow-japan)
---	---



エイズ予防週間実行委員会の取組

主催:エイズ予防週間実行委員会(大阪府・大阪市・堺市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市)

期間:10月～12月

会場:大阪府全域

内容:大阪府・大阪市・堺市・高槻市・東大阪市・豊中市・枚方市・八尾市・寝屋川市・吹田市では「エイズ予防週間実行委員会」を組織し、「世界エイズデー」を中心とした1週間を「エイズ予防週間」として定め、エイズに関する正しい知識の普及啓発活動等に取り組んでいます。今年も10月～12月の期間中に様々なエイズ啓発の取り組みを行いました。また啓発資材としてポケットティッシュ(20,000個)・ボールペン(2,000個)・不織布バッグ(500枚)・のぼり旗(11枚)を作成し、各政令市・中核市及び府保健所の啓発活動(対象施設は高校・大学、娯楽施設、医療機関等)において配布・掲示したほか、「FUNKY MARKET」、「セレッソ大阪試合会場に設置した啓発ブース」においても配布・掲示をしました。

啓発動画配信

期間:①11月20日(木)～12月19日(金)の1ヵ月間

②12月20日(土)～1月18日(日)の1ヵ月間

配信地域:①②大阪府全域

内容:令和7年度に作製した「梅毒啓発動画」(15秒)を、①YouTube及び②Instagramで広告配信をしました。

①YouTubeは18歳から34歳の男女を、②Instagramは15歳から29歳の男女を対象としました。

結果:①YouTubeのインプレッション数は197,925回、クリック数は1,473回(クリック率0.74%)、完全視聴回数は100,379回(完全視聴率50.72%)でした。②Instagramのインプレッション数は814,669回、クリック数1,508回(クリック率0.19%)でした。

本年度は15秒動画にすることで、①YouTubeは、クリック数・率、完全視聴率が増えました。②Instagramは、クリック数は昨年度よりも少なかったが、表示画面を増やすことなく目標値を達成することができました。多くの若者の検査受検促進に結び付いたことが期待されます。



セレッソ大阪試合会場での啓発ブースの設置

日時:12月6日(土)11時～13時

会場:ヨドコウ桜スタジアム

内容:パネル展示とクイズを実施しました。解答者へ景品(啓発用のポケットティッシュ、ボールペン、不織布バッグ、セレッソグッズ(ノート)、啓発冊子・カード)をプレゼントしました。

結果:Jリーグチームセレッソ大阪を運営する株式会社セレッソ大阪と連携して啓発を実施することで、比較的若い層に対し、効率的・効果的にHIV/エイズ等に関する正しい知識を伝える機会となりました。クイズ解答者数は500人で目標人数を達成しました。



大阪城天守閣・太陽の塔・旧堺燈台のライトアップ

日時:①12月1日(月)日没から22時まで

②12月1日(月)日没から23時まで

③11月28日(金)～12月4日(木)日没から23時まで

会場:①大阪城天守閣・②太陽の塔・③旧堺燈台

内容:世界エイズデーにあわせ、大阪城天守閣・太陽の塔・旧堺燈台を、HIV陽性者に対する理解と支援の世界的シンボルであるレッドリボンの赤色にライトアップし、HIV/エイズへの関心を高める機会としました。

結果:現場に多くの人たちがいたこと、Xでも反響があり、世界エイズデーにおける啓発活動のひとつとして認識いただいたことが伺える投稿が複数みられたことから、HIV/エイズへの関心を高める機会になりました。



dista de 展示会
dista art mu-ジウム アナタの身体がアブナイ展

実施:MASH 大阪

日時：11月27日(木)～12月28日(日) 17時～22時

※月・火・水曜日を除く

場所：コミュニティセンターdista

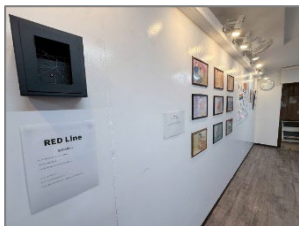
内容：dista 来場者が性感染症について身近に感じ、自然に関心を持てるよう、性感染症特有の症状や予防知識をテーマにしたカジュアルな絵画を展示しました。

結果：総来場者数は 280 名でした。普段触れる機会の少ない「性」および「性感染症」に関する認知向上を目的とし、アルバイト学生が制作した性に関する作品の展示会を実施しました。本展示では、絵画等の視覚作品を通じて、来場者が直感的に性感染症に関する知識や予防の重要性について理解を深めてもらえるよう構成しました。また、来場者が抱えている不安や疑問を匿名でポストイットを活用し、作品に貼ってもらう参加型の展示も行いました。さらに、該当箇所には dista スタッフが解決策や助言を記載したポストイットを追加することで、性に関する話題をより身近に感じてもらうとともに、不安や疑問の解消につながることを目指しました。



コミュニティセンターdistaの学生スタッフが性に関わるテーマをアートで表現!
来場者も参加できる展示物やワークショップもあります。
一緒に「セクシュアルヘルス」について考えてみませんか?

ナニ
あなたの身体がアブナイ展



心斎橋サンサンサイト (JHCクリニック)
無料・匿名でHIV即日抗体検査

主催：一般社団法人JHC

日時：12月6日(土) 17時30分～19時

(17時から整理券配布)

会場：大阪検査相談・啓発・支援センターchotCAST内
JHCクリニック

内容：世界エイズデーおよび大阪エイズウィークス啓発イベントの一環として、一般市民を対象にした定員30名、無料・匿名のHIV即日抗体検査を実施しました。希望者には追加オプションとして、B型肝炎 および 梅毒の検査を実施しました。

結果：受検者数は6名(男4名、女2名)でした。

心斎橋サンサンサイト (JHCクリニック)
無料・匿名で HIV 即日抗体検査

12月6日(土) 受付時間 17:30 から 19:00 まで
(17:00 から整理券配布)

【実施場所】
大阪検査相談・啓発・支援センター chotCAST内 JHCクリニック
(大阪市中央区東心斎橋 1-7-30 2.1 心斎橋ビル4階 chotCAST)
アクセス：地下鉄 御堂筋線・心斎橋駅から徒歩 5分
地下鉄 堺筋線・長堀橋駅から徒歩 2分

【実施内容】
検査内容：HIV 即日検査
希望者には追加オプションとして、B型肝炎 および 梅毒の検査を実施します。
結果：即日(但し、確認検査が必要となった場合は約 1 週間後の通知となります。)
当日の結果のお知らせは採血から約 1 時間 30 分後に、本人に直接、口頭で行います。また、検査当日のみに限ります。電話やメール等のお知らせはできません。証明書等の発行はできません。

費用：無料・匿名 当日先着順 (予約不要)
定員：30 名 (定員になり次第、受付は終了します。)
問い合わせ：06-4708-5339
(検査当日の検査実施時間帯のみ繋がります。)

ホームページアドレス
<https://chotcast.com/index.htm>

主催：一般社団法人JHC が実施します。

FREE and anonymous HIV testing with interpreting services

主催: 特定非営利活動法人スマートらいふネット

日時: 12月7日(日) 14時~15時30分

場所: 大阪検査相談・啓発・支援センターchotCAST

内容: 通訳が必要な方も、一般の方も受けられる、無料・匿名のHIV検査を実施しました。通訳は中国語・ベトナム語・英語の3カ国語対応としました。検査項目は、HIV・梅毒・B型肝炎の3項目で、要事前予約。受検者へは感染予防のためのコンドーム(ジェクス株式会社寄贈)を配布しました。

結果: 検査受検者数は44名で、中国語の通訳を必要とした受検者が1名ありました。また11月30日に当施設で即日検査を受検し要確認検査となっていた1名に、インドネシア語通訳付きで告知を行いました。

上記を含め12月第1週を世界エイズデーに合わせた検査週間として取り組み、合計参加者数(検査受検者数)は153名でした。①12月2日(火) 夜間通常検査13名、②12月4日(木) 夜間即日検査48名、③12月6日(土) 休日即日検査48名、④12月7日(日) 休日即日検査(通訳付き外国人検査相談日) 44名。

予約制導入(2021年度)後の受検者数は増加傾向にあり、コロナ禍においても半数の減少はあったものの既にコロナ禍前の受検者数を上回ってきている中で、感染予防にむけて一層の取り組みを強化してきています。

そこでエイズウィークスの1週間は、感染予防のためのコンドームを配布しながら感染予防に取り組みました。

Book Club

実施: 特定非営利活動法人 CHARM

日時: 12月13日(土) 11時~13時

場所: 扇町キューブ 談話室まちそわ

内容: Book Club は月1回参加者が関心を持っている本を取り上げて一緒に読む会です。原則第二土曜日の午後開催しています。

今回はエイズウィークスの一環として以下の本を読みました。

本: 「大都会の愛し方」 パク・サンヨン著 亜紀書房

結果: 今回は7名の参加がありました。お隣の韓国大都会ソウルでのゲイ男性の生き様を描いた作品で、ゲイ男性が共感できるエピソードが詰まったこの作品は、国境や文化を超えてあるあると感じられる興味深い作品です。MASH 大阪の機関誌で紹介したライター、著者と知り合いの読者も参加し、作品の詳しい内容について解説もしていただきより良く理解することができました。談話室まちそわの店長も参加してくださり、背景の異なる人々の間で作品についての意見交換をすることができました。

第9回 関西 HIV・薬剤 Workshop

主催: 特定非営利活動法人薬と医療の啓発塾
後援: 一般社団法人大阪府薬剤師会

日時: 12月20日(土) 15時~16時30分

会場: 大阪府薬剤師会館西館4F 第2会議室
(Web参加も可能なハイブリッド形式)

内容: 保険薬局薬剤師が直接かかわる機会がない注射剤の抗HIV薬を中心に、製造販売元のヴィーブヘルスケア株式会社の矢吹友敏氏から詳細な説明を受ける機会を得ました。患者側の立場からのメリット・デメリットについて改めて知識整理ができました。後半は、病院と保険薬局の両方で勤務をされた経験からHIV患者における必要な情報と視点について都島センター薬局の宮本愛梨沙先生より講演をいただきました。症例提示により具体的な説明があり、保険薬局薬剤師には大変参考になる講演内容でした。

結果: 参加者は18名(会場7名、Web11名)でした。講演後のアンケート結果より、講演1は注射剤に関する講演であったため、一部の方が「難しかった」と答える方もおられましたが、9割近くの方が「理解できた」と回答いただきました。注射に適する患者の選定や投与スケジュールなど普段、保険薬局薬剤師が学びにくい項目を習得できたとの回答を多くいただきました。

講演2については参加者全員が「理解できた」と回答され、「薬剤師の具体的なかわりについて、さらに学んでいきたい」と前向きなコメントをいただきました。今回はじめて大阪府薬剤師会館の会議室で開催したのもっと会場での参加者を期待していましたが、従来通りの参加となりました。また日本薬剤師研修センターにも情報をオープンにし、全国版への掲載も行いましたが、他府県からの参加者はいませんでした。

今後もっと保険薬局薬剤師による研修会として横の繋がりを密に参加者を増やしていく工夫が必要と感じました。

大阪エイズウィークス2025参加企画

第9回 関西HIV・薬剤Workshop
(会場+Web開催)

日時 12月20日(土) 15:00-16:30
会場 大阪府薬剤師会館西館4F 第2会議室

1部	2部
「HIV治療薬の製品情報について」 ヴィーブヘルスケア 医薬情報担当者 ヴィーブヘルスケア株式会社	「病院と薬局の経験から学んだHIV感染症患者における必要な「情報」と「視点」」 宮本 愛梨沙 先生 HIV感染症薬物療法 認定薬剤師 都島センター薬局

● 日本薬剤師研修センター登録研修です(1単位)
● 事前お申込みはメール又はQRコードからお申し込み
● メール m2.keihatus@gmail.com

主催 特定非営利活動法人 薬と医療の啓発塾
後援 一般社団法人 大阪府薬剤師会

7. 広報

大阪エイズウィークス2025の全体広報資材としてパンフレットを作成し、大阪エイズウィークス参加団体を通じてそれぞれの活動対象者へ配布したほか、近畿の各府県および政令市のエイズ対策担当、近畿のエイズ拠点病院等へも送付し周知しました。また10月26日(日)の「FUNKY MARKET」にて来場者に配布し、様々な層へ広報することができました。

ホームページ/Facebook/X

ホームページやFacebookでは、各イベントの詳細情報を掲載し、X(旧Twitter)で情報の拡散をしました。

またHIV/エイズに関するニュースや検査相談情報などを随時発信しました。

パンフレット

仕様: 観音折り8ページ(仕上がりA5サイズ/両面4色)
20,000部作成・配布

パンフレット中開面2ページにはエイズについての知識をUPDATEするような情報を掲載しました。また、パンフレット内面4ページには、参加企画の情報を掲載しました。

パンフレット表紙



パンフレット裏表紙



大阪エイズウィークス2025実施報告書

発行：2026年(令和8年)2月

発行者：公益財団法人エイズ予防財団

〒101-0064 東京都千代田区神田猿樂町2-7-1 TOHYU ビル3階

TEL (03) 5259-1811 / FAX (03) 5259-1812

ホームページ：<https://www.jfap.or.jp>

大阪エイズウィークス連絡会事務局

〒540-0006 大阪府中央区法円坂2-1-14

独立行政法人国立病院機構大阪医療センター 臨床研究センター3階

TEL (06) 6942-1331 [内線 6350] / FAX (06) 6946-3652

ホームページ：<https://osaka.aids-week.com>



阪

エイズウィークス

2025

